

★ぱちボラクイズ★「災害時、被災地の社会福祉協議会に設置される“災害ボランティアセンター”、尼崎では何度、設置された？」
 ① 2回 ② 4回 ③ 一度もない *答えは来月号で！
 【9月号の答え】「(2024年5月末現在)ボラセン登録グループ数は、157！」何十年と活動されているグループから最近登録されたグループまで、最初は一人で始めることも多いボランティア。だんだんと、同じ思いに共感する“なかま”での活動へ。ボランティアを通じた、年齢も地域も超えたつながり、みなさんはどんな出会いがありましたか？

ぼちボラの会

今月は

10月15日(火)10時から11時30分

尼社協ほっと館1階ロビー

- 当日参加できます(申込みなし)
 - いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
 - 持ちものは、ありません
 - エコ封筒づくりや切手整理などをします
 - ボランティアのご相談も、お気軽に~o~
- *11月は、14日(木)の予定です！



2024 スポーツのまち

尼崎フェスティバル

出店します！

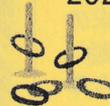


武庫荘総合高校と阪神特別支援学校分教室のみなさんと
 いっしょに、「だれもが楽しめる？わなげ」遊び等と、社協
 の広報ブースを出します。ぜひ遊びに来てくださいね！

2024年10月14日(月・祝)10時~15時

尼崎市記念公園施設にて

*社協ブースは「総合体育館」前！



手作り募金箱を通して、
 あなたもいっしょに
 地域を応援！

地域の方から寄付された「ブロック」を使い、夏休み、小学生と募金箱づくりのイベントを行いました。10月からの「赤い羽根共同募金」の期間にあわせて、その募金箱が、尼社協ほっと館周辺のお店等に設置されます！

テーマもお金の投入口も様々、どんな募金箱があるか、ぜひすべてのお店に行ってみてくださいね！



赤い羽根共同募金って？

「じぶんの町を良くするしくみ。」として、1947年から続く民間運動です。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう取組まれる、子育て支援・高齢者の配食支援・災害支援等の活動を応援する取組みです。

今回、募金箱の設置にご協力いただくみなさん！

*設置期間は、店舗によって異なります。詳しくは尼社協ホームページに一覧を掲載予定です。

(敬称略、順不同)

きりん接骨鍼灸院 / 山本米穀店 / Coffee and sweets めばえ /
 庄田商店 / N COFFEE FACTORY / 紅茶専門店 Tea チャイ茶房 /
 さつき菓子店 / 讃岐家めんどん / 武庫之荘ふらいぱん /
 クレープハウスメリールウ / plum / 永田歯科医院



【つづける、つながる、“ちから”になる。】 -順不同・敬称略- ベルマークの収集もありがとうございます！

【お名前の掲載について】
 □発行月の前月25日までに、ボラセンで受付した分を、翌月に掲載します。
 □1カ月に2回以上、お持ちいただいた方は、お名前の後ろに「★」をつけています。
 *掲載の流れを整理しました。何卒ご了承ください。

みなさんに集めていただいたプルタブは、年1~2回換金し、「善意銀行事業」として地域福祉を進める団体等の助成金に活用させていただいています。先月、約300kgのプルタブを換金しました。ありがとうございます！

【切手(整理含む)】

(株)ライオン屋/三村昭子/尼崎マジック愛好会/
 社会福祉土河本健二事務所/関西熱化学株式会社

【切手&プルタブ】

劉成朝

【プルタブ】

はばたく会/紺屋祐子/角里代/浜南福祉協会/塚口第3住宅福祉協会/今雅子/大西東福祉協会/キノシタ/戸ノ内コミュニティ会館/和楽園/阪神尼崎ラジオ体操会★/次屋東福祉協会/佐藤豊/柴田/ナルク/武庫民協第3ブロックB★/福喜園/沢本仁一郎/

【発行】尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5尼社協ほっと館3階

電話 06-4950-8863(平日9時~17時)/ファクシミリ 06-4950-8913/メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。

ゆうりん



公式SNSも、
ぜひチェックして
みてください♪



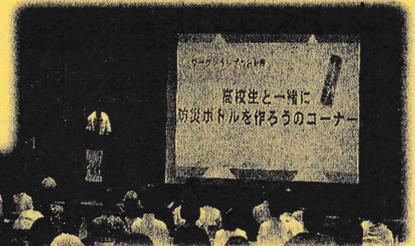
©AMASYAKYO.9043

2024年も残り3か月、やり残したことはないですか？ボランティアも、「やろう！」と思った気持ちがあるときが、そのタイミング！とはいえ、焦らず、ぼちぼちと。

防災月間・特集② “ボランティア”の現場から。⑥

前回に引き続き、県立武庫荘総合高等学校で活動する高校生の寄稿です！
防災ボトル、みなさんは、準備していますか？

誌面からこんにちは。むこっ子防災キャラバン広報部(仮)です。むこっ子防災キャラバンとは武庫荘総合高校のボランティアグループです。「総合的な探求の時間」のゼミの一つである防災ゼミと連動して活動しており、防災に関わる課外活動を行っています。今年度、防災ゼミでは、「社会を明るくする運動」武庫地区集会で活動についての発表、防災運動会などの活動を行いました。



防災キャラバンでは、防災ボトル、を広めるためのワークショップに力を入れています。毎年恒例、尼崎市民まつり(10月6日)、武庫まつり(10月26日)でワークショップを開催するのでぜひご参加ください。

そんな私たちは、「支え合いを育む人づくり支援事業」の助成を受けており、武庫地域課の方々をはじめ、様々な方に活動をサポートしていただいています。活動している我々も自身の成長を実感していますし、何より、こどもたちに喜んでもらって、地域の方々に感謝される経験が活動の励みになっています。これからも今までの活動を継続しつつ、少しずつ活動の幅を広げていきたいと思っていますので、以後、お見知りおきを。



手話で 花咲く世間話。

わたしの、ボランティア活動録



ボランティアセンター登録グループ「手話サークル指の会」のお二人が、手話のおはなしボランティアとして活動されています。月1回、聞こえに障害がある90代の方のお家を訪問し、「新しく行き始めた歯医者が下手だった」とか、「クーラーのついた部屋の中は冷えるよね」など、他愛のない世間話に花を咲かせます。1回40分程の活動も、もうすぐ1年。ご本人はこの時間を「楽しい」とおっしゃっていて、ボランティアの方も、ご本人との時間を大切に、ゆるやかで温かい関係を築いてくださっています！

最初は初めてのボランティアだったので緊張したが、Aさんもすごくしっかりされていますし、いつも楽しくお話させていただいています。声がよく出る事も多く手話も使いますが、コミュニケーションをとる上ではあまり問題ないと思います。

ろう者の方に限らず、高齢者の方とのお話相手はとても大切な事だと思っているので、少しの時間でもたわいもないお話をしてお話を聞いて気分を変えて楽しい時間を過ごして頂ければなと思っています。

月1回のペースですが、Aさんの体調も含め様子をみながら私自身もろう者の方とコミュニケーションをとれる様に、手話の技術もみがいていけたらなと思っています。ボランティア T・N

言葉のチカラ。

言葉って不思議ですね。上の記事のとおり、言葉って、それひとつで元気になったり、悲しんだり、人の心に橋をかける不思議なチカラがありますよね。そこに顔の表情や、声色がプラスされると、ますますそのパワーは絶大です。

私には3歳の我が子の「いたいのいたいのとんでけ～。はい、もうだいじょうぶよ」が、今のところどんな薬よりも効くようです…恐るべし3歳！

みなさんもふだんの暮らしの中や、ボランティアされている場で、言葉のチカラを感じる機会がありませんか？言葉は形には残りませんが、心の中には残ります。ボランティアセンターが、みんなが笑顔になるあったかい言葉のやり取りがあふれる場でありたいな～と思います。

コーディネーター
ひとりごと。

